

大項目	中項目	小項目	備考	
		3 電撃傷		
		4 光線損傷		
		5 放射線損傷		
		6 褥瘡		
		G 炎症の局所的変化	1 組織反応	
		2 症候		
	H 炎症の全身的变化	1 血液の変化		
		2 代謝性反応		
		3 全身性炎症(性)反応症候群<SIRS>		
	I 急性炎症と慢性炎症			
4 感染 約8%	A 感染の概念	1 病原微生物		
		2 感染防御機構		
		3 感染と発症		
		4 感染様式		
		5 感染経路		
		6 感染と免疫・アレルギー		
		7 敗血症		
	B 宿主側の要因	1 易感染性宿主 <compromised host>		
		2 日和見感染症 <opportunistic infection>		
		3 保菌者<キャリア>		
		4 二次感染、複数菌感染		
		5 菌交代現象、菌交代症		
	C 垂直感染	1 子宮内感染、産道感染		
		2 母子感染	TORCH 症候群	
	D 新興・再興感染症		重症急性呼吸器症候群<SARS>、高病原性鳥インフルエンザ、ウエストナイル熱・脳炎、エボラ出血熱、クリプトスポリジウム症、クリミア・コンゴ出血熱、後天性免疫不全症候群<AIDS>、腸管出血性大腸菌感染症、ニバウイルス感染症、日本紅斑熱、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌<VRSA>感染症、マールブルグ熱、ラッサ熱、結核、マラリア	

大項目	中項目	小項目	備考
	E 輸入感染症<旅行者感染症>		狂犬病、ウエストナイルウイルス感染症、ハンタウイルス肺症候群、重症急性呼吸器症候群<SARS>、アメーバ赤痢、マラリア、輸入真菌症
	F 院内<病院>感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌<MRSA>、バンコマイシン耐性腸球菌<VRE>、多剤耐性緑膿菌<MDRP>、結核、インフルエンザウイルス、水痘、麻疹、疥癬、ノロウイルス、ロタウイルス、クロストリジウムディフィシル<CD>、レジオネラ(感染)症
	G 市中感染症		
	H 性感染症<STD、STI>		エイズ、梅毒、淋疾、クラミジア感染症、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ、ヒトパピローマウイルス
	I 人畜<人獣>共通感染症		ライム病、レプトスピラ症、鼻疽・類鼻疽、猫ひっかき病、トキソプラズマ症、リーシュマニア感染症、ブルセラ症
	J バイオテロに関連する伝染性疾患		天然痘、炭疽、ペスト、ボツリヌス症、野兔病、ウイルス出血熱
5 アレルギー、免疫異常 約8%	A 免疫不全		
	B 自己免疫		
	C アレルギー反応	1 Coombs 分類	
6 腫瘍 約8%	A 腫瘍の疫学	1 罹患<発生>率	
		2 生存率	
		3 死亡率	
	B 腫瘍の病因	1 発癌因子	
		2 癌と遺伝子異常	
		3 癌遺伝子、癌抑制遺伝子	
C 悪性腫瘍と免疫		後天性免疫不全症候群<AIDS>	

大項目	中項目	小項目	備考
	D 腫瘍の病態・病理	1 腫瘍の自然史	
		2 良性、境界悪性、悪性	
		3 上皮性、非上皮性、上皮非上皮混合性	
		4 前癌病変、異形成	
		5 潜在癌、偶発癌、上皮内癌、表在癌	
		6 早期癌、進行癌、転移癌、重複癌	
		7 浸潤	
		8 リンパ行性転移、血行性転移、遠隔転移	
		9 播種	
		10 悪液質	
		11 TNM・臨床病期分類	
		12 再発	
7 循環障害、臓器不全 約8%	A 血行障害	1 阻血、虚血	
		2 充血	
		3 うっ血	
		4 出血	
	B 梗塞	1 血栓	
		2 塞栓	
	C リンパ流障害	1 水腫	
		2 リンパ漏	
	D ショック	1 原因	
		2 機序	
		3 病態	
	E 血圧異常	1 高血圧	
		2 低血圧	
		3 起立性低血圧、起立性調節障害	
	F 臓器不全	1 臓器不全	
		2 多臓器不全<MOF>、多臓器機能障害<MODF>	
	8 内分泌・代謝・栄養の異常 約8%	A ホルモンの欠乏と過剰	1 欠乏と過剰
2 ホルモン不応症			
B エネルギー及び三大栄養素の欠乏と過剰		1 低栄養	
		2 エネルギーの過剰摂取と肥満	
C 無機質<ミネラル>・必須<微量>元素・必須微量栄養素の欠乏と過剰			
9 中毒、放射線障害 約8%	A 中毒の発生要因		
	B 中毒の病態生理	1 化学物質の吸収・代謝・排泄	
		2 中毒量、致死量、LD ₅₀	
		3 急性中毒、慢性中毒	
		4 発癌性	
		5 生殖毒性	
		6 依存	

大項目	中項目	小項目	備考	
	C 放射線の身体的影響	1 早期障害<急性反応>		
		2 晩期障害<遅発性・晩期反応>		
		3 放射線誘発癌		
		D 放射線の胎内被曝の影響	1 妊娠時期と放射線感受性	
	E 放射線の遺伝的影響	1 生殖腺線量		
		2 遺伝有意線量		
	F 放射線の確率的・確定的影響	1 閾<しきい>線量		
		2 リスク係数		
	10 医原病 約8%	A 診断に伴う医原病	1 医師の対応による医原病	
			2 診断操作による医原病	
	B 治療に伴う医原病			
11 死 約20%	A 死の概念と定義	1 死の判定		
		2 心臓死		
		3 脳死、脳死判定基準		
		4 植物状態		
		5 尊厳死、リビングウィル		
		6 安楽死		
	B 突然死	1 乳幼児突然死症候群<SIDS>		
		2 心臓突然死		
	C 院内死亡	1 院内死亡と病理解剖		
		2 病理解剖の目的		
	D 異状死	1 異状死の判断		
		2 異状死体届出の義務		
		3 死体検案		
		4 監察医制度		
		5 司法解剖、行政解剖、承諾解剖		
	E 死後変化	1 早期死体現象		
		2 晩期死体現象		
		3 死後経過時間の推定		

VI 症候 [約 13%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 全身症候 約 16%	A 発熱		
	B 全身倦怠感		
	C 体重減少・増加		
	D 低身長、高身長		
	E やせ、肥満		肥満指数<BMI>
	F ショック		
	G 意識障害、せん妄		
	H 不穏、精神運動興奮		
	I うつ状態		
	J けいれん		
	K めまい		
	L 脱水		皮膚の緊張度<ツルゴール>
	M 脱力感		
	N 浮腫		
2 皮膚、外表 約 8%	A 皮疹	1 紅斑	
		2 紫斑、出血斑	
		3 色素異常	
		4 丘疹	
		5 結節	
		6 腫瘍	
		7 水疱	
		8 膿疱	
		9 囊腫	
		10 膨疹・蕁麻疹	
		11 びらん	
		12 潰瘍	
		13 毛細血管拡張 <telangiectasia>	
		14 硬化、萎縮	
		15 鱗屑、痂皮、落屑	
		16 壊疽	
	B 粘膜疹		アフタ
	C 爪・毛髪異常		
	D 瘙痒		
	E 皮膚分泌異常	1 発汗	
		2 皮脂	
	F デルマドローム		
G 黄疸			
H 手掌紅斑			
I 脈管異常	1 血管・リンパ管奇形と腫瘍	<も状血管腫 <vascular spider>	
J 母斑			
K 小奇形			
L リンパ節腫脹		Virchow 結節	
M 褥瘡			
N 角化異常			
O 光線過敏			
P 疼痛			
3 頭頸部、感覚器 約 12%	A 顔貌の異常		
	B 甲状腺腫		
	C 視力障害		